

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2002-147477(P2002-147477A)

【公開日】平成14年5月22日(2002.5.22)

【出願番号】特願2000-342283(P2000-342283)

【国際特許分類第7版】

F 16 C 33/78

F 16 C 41/00

【F I】

F 16 C 33/78 Z

F 16 C 33/78 D

F 16 C 41/00

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月28日(2003.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外方部材と、内方部材と、前記外方部材と前記内方部材との間に転動自在に配設された複数の転動体と、前記外方部材及び前記内方部材のうち一方に取り付けられ他方に滑り接触するシール部材と、前記外方部材と前記内方部材との間で前記シール部材の内側に配された潤滑剤と、を備えた転動装置において、

前記シール部材が導電性を有するとともに、

前記シール部材のうち前記外方部材又は前記内方部材と摺接する部分と、前記外方部材又は前記内方部材のうち前記シール部材と摺接する部分と、の少なくとも一方を、体積抵抗率が $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^8 \Omega \cdot cm$ 以下の導電性潤滑油で覆ったことを特徴とする転動装置。

【請求項2】

前記導電性潤滑油は、導電性物質又は帯電防止効果を有する界面活性剤を1~20wt%含有することを特徴とする請求項1に記載の転動装置。

【請求項3】

前記帯電防止効果を有する界面活性剤は、ノニオン系界面活性剤、アニオン系界面活性剤、カチオン系界面活性剤、又は両性界面活性剤であることを特徴とする請求項2に記載の転動装置。

【請求項4】

前記導電性物質は、電荷移動錯体又はイオン導電性物質であることを特徴とする請求項2に記載の転動装置。

【請求項5】

前記シール部材のうち前記外方部材又は前記内方部材と摺接する部分と、前記外方部材又は前記内方部材のうち前記シール部材と摺接する部分と、の少なくとも一方に、撥油剤を塗布したことを特徴とする請求項1~4のいずれか一項に記載の転動装置。

【請求項6】

前記潤滑剤はグリースであり、ジアルキルジフェニルアミン又はトリクロレジルフォスフェートを含有することを特徴とする請求項1~5のいずれか一項に記載の転動装置。